



WAMは福祉と医療の民間活動を応援します

令和4年10月7日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 坪井 七夫
経営サポートセンター
リサーチグループリーダー 松本 庄平
担当 平内・佐藤 (電話) 03-3438-9932
(FAX) 03-3438-0371

病院経営動向調査(2022年9月)の結果について

独立行政法人福祉医療機構では、今後の病院経営や医療政策の適切な運営に寄与するため、病院経営における現場の声・実感や定期的な経営動向の変化を調査する仕組みとして、2019年から病院経営動向調査を四半期毎(3月、6月、9月、12月)に実施しています。今回は2022年9月に実施した本調査の結果についてご報告します。

詳細はホームページ(<https://www.wam.go.jp/hp/hp-survey/>)に掲載しております。

1. 調査の概要

- 対象：病院(339施設)を運営する法人263法人(うち、医療法人217法人)*法人調査対象は医療法人のみ
- 調査事項：病院および医療法人の収益・費用・利益、資金繰り、従事者数等に関する現在の状況と3ヶ月後の先行き予測、新型コロナウイルス感染症の影響および原油価格や物価高騰の影響
- 回答数：病院：265 医療法人：167 有効回答数：病院：265 医療法人：167
- 有効回答率：病院：78.2% 医療法人：77.0%
- 実施期間：2022年9月1日(木)～2022年9月22日(木)
- 実施方法：Web上で実施
- 集計方法：DI(景気変動を判断するための指標。各項目の第1選択肢の回答割合から第3選択肢の回答割合を差し引いて算出)に加工・集計して公表

2. 調査の結果

【病院の動向】

- 医業収益のDIは、一般病院が $\Delta 22$ (前回調査より20%ポイント低下)、療養型病院が $\Delta 8$ (同10%ポイント低下)および精神科病院が $\Delta 35$ (同8%ポイント低下)となった。
- 医業収支(黒字・赤字)のDIは、一般病院が $\Delta 8$ (前回調査より7%ポイント低下)、療養型病院が30(同10%ポイント低下)および精神科病院が0(同6%ポイント上昇)となった。
- 資金繰りのDIは、一般病院が $\Delta 2$ (前回調査より6%ポイント低下)、療養型病院が0(同7%ポイント低下)および精神科病院が $\Delta 22$ (同1%ポイント低下)となった。
- 従業員数のDIは、一般病院が $\Delta 41$ (前回調査より8%ポイント低下)、療養型病院が $\Delta 35$ (同15%ポイント低下)および精神科病院が $\Delta 43$ (同6%ポイント低下)となった。
- 経営上の課題として「人件費以外の経費の増加」を挙げた病院は、一般病院が60.3%(前回調査より10.9ポイント上昇)、療養型病院が39.7%(同1.3ポイント上昇)、精神科病院が58.7%(同1.7ポイント低下)となった。

【医療法人の動向】

- 事業収益のDIは $\Delta 10$ (前回調査より13%ポイント低下)、事業収支(黒字・赤字)のDIは20(同2%ポイント低下)、資金繰りDIは $\Delta 2$ (同6%ポイント低下)、従業員数のDIは $\Delta 44$ (同9%ポイント低下)となった。

【その他】

- 2022年度上半期の医業収益(見込み)について、前年度同期比5%以上増収する見込みの病院は25.0%、5%以上減収する見込みの施設は35.6%となった。
- 原油価格や物価高騰による影響を受けていると回答した病院のうち、前年度同期比で水道光熱費が増加した施設は92.3%となった。変化幅の内訳をみると、前年度同期比で水道光熱費が20%以上増加したと回答した施設は44.9%を占めた。
- 病院におけるサイバーセキュリティ対策に関する取組みとして、「院内のPCにウイルス対策ソフトを導入している」と回答した割合は90%を超えている。病院類型別にみると、一般病院で「システムアクセス制限などの規程の整備」「セキュリティに関する教育・訓練の実施」の割合が高かった。